

令和3年度 社会福祉法人御蔵島社会福祉協議会 事業計画

御蔵島社会福祉協議会経営理念

私たち御蔵島社会福祉協議会は、厳しい自然環境にある島の歴史・風土の下で生活している村民が支え合い、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域づくりを推進してまいります。その推進に当たっては、枠組みにとらわれず柔軟に対応し、地域に根ざした事業所の実現を目指します。

御蔵島社会福祉協議会経営方針

1 経営の安定

村民に安定したサービス提供を図るため、組織の基盤づくりに全力を注ぎます。

2 地域との連携

村民のニーズを把握するため職員が自ら足を運び話しやすい関係を築きます。

3 人材育成

村民のニーズに柔軟に対応するため、限られた社会資源を活用できるよう職員のスキルアップに努めます。

※ 新型コロナウイルス感染症の流行により計画遂行の難しい状況が令和3年度も続きます。国や都や村の方針に沿った形で出来る限りの事業実施を目指し、利用者、職員、その他関係者の予防を徹底し、感染させない、広げない環境づくりに励みます。

1 法人運営事業

ア 会員募集

コロナ禍において、会員募集は自粛する。年度内において再検討。

イ 送迎サービス事業

宣伝活動を強化し、より幅広い年齢層の利用者拡大を目指す。

ウ おむつ費用助成事業

必要な方の情報収集し、利用を促す。

エ ボランティア団体等助成事業

ボランティア活動をより活発なものにするための支援を行っていく。

オ 福祉用具貸出事業

宣伝強化を図り、利用者拡大に努めるとともに、用具の見直しを図りたい。

カ 宣伝普及事業

みくらじま社協だよりの定期発行を維持。HPによる情報公開も図る。

キ 御蔵島村敬老祝賀会受託事業

村と協議し、実施協力をする予定。

ク 福祉サービス利用援助事業

「権利擁護事業」「生活福祉資金貸付事業」についての周知を図る。

ケ 共同募金運動受託事業

赤い羽根の共同募金、歳末たすけあい運動を実施。コロナ禍に合って運動展開。

コ 社協まつりについて

未定。コロナ禍において行事とは別の視点での啓発活動の模索。

サ 人材育成

正規職員確保に努める。ネット講座を使った介護技術等研修も行う。

シ 島しょ社協連絡協議会への参加

役員が島嶼地区独特の地域福祉向上のために参加をする。本年度は神津島主催だが開催についてはコロナのため未定だが、開催の場合 11 月、会場は飯田橋。

ス 敬老お祝い弁当

例年どおり 65 歳以上に配布する。配布時期は敬老の日前後で調整。管理栄養士を招聘し弁当制作の協力、調理衛生指導も行う予定。

セ 村内ゴミひろい活動

ボランティア活動啓発の一環として、年 4 回、集落内の清掃活動を行う予定。昨年は実施できず再開は未定。

2 御蔵島村福祉保健センター仲里

ア 高齢者生きがいデイサービス事業

利用者の拡大、サービス向上を図る。コロナ禍においても実施ができる様、感染予防を徹底する。

イ 通所入浴事業

より効率的なサービス提供を検討、実施をする。

ウ 訪問介護事業、介護予防訪問介護事業

ケアマネージャーの採用により、居宅介護事業の実施、訪問介護事業の安定した運営を目指す。

エ 相談事業

保健師を配置し、幅広い相談窓口の充実化を図る。

オ ホームヘルプサービス事業

現在の有償家事援助サービスの見直しが必要かどうかを再検討する。

カ 配食サービス事業

声掛けや情報収集、可能な限り地産地消の配食をめざす。

キ 福祉保健センター管理運営事業

コロナ禍において、どこまで実施できるか未知数だが、一般の方の利用も徐々に検討していく。放課後健全育成事業は引き続き実施し、実情を踏まえて事業の見直しを検討する。

ク 職場体験、施設見学等の受入

御蔵島中学校で実施している職場体験の協力を行う。その他についてはコロナの状況を勘案して検討する。

ケ 介護予防体操教室

年 3 回講師を招き実施予定。高齢者予備軍の参加も検討する。コロナで未確定。

コ 福祉啓発事業

認知症サポーター養成講座を実施予定。コロナで未確定。